

## 園長先生のお話

7月に入り、梅雨明けも間近に迫っています。一学期も終わろうとする今、子どもたちは子どもたちなりに成長してきたと思います。その成長の実りとこれからの新しい芽生えをしっかりと子どもたちの中に見てあげることが極めて大切なことです。それらは何気ない子どもたちの動作や発するその言葉の中に隠れています。親という字は、よく注意して書くと「立っている木の傍から見る」という漢字になっています。遠くからであっても、近くからでも、子どもの声に耳を傾け、その姿を見て、何か褒め言葉を投げかけられたら、子どもはさらに大きく成長することでしょう。長い夏休み、子どもと一緒にいる機会が多くなります。子どもたちの一言一句を大切に心に留めて、元気にお過ごしください。

園長 頭島 光

## ～おもちゃと環境づくり～

子どもがヨチヨチ歩ける様になると、家の“おもちゃ”も増えて来ます。大人にとって“おもちゃ”であっても、その子にとっては大切な“宝物”。敏感期にある子どもにとって、秩序のある環境を整えてあげる事はとても大切な事です。おもちゃ箱の中にバラバラに置かれてあるより、子どもが立った時に目に入る高さの棚に整然と並べられているのを見ると、お片付けも自分の目で見て上手に出来るようになるでしょう。来週から夏休みです。親子でおもちゃ箱の整理を試みてはいかがでしょうか？

\*夏休みに、親子ですてきな体験が出来ます様に、そして9月に元気な姿で会えます様にお祈り申し上げます。

### 【子どもが活動しやすい環境】

#### ①子どものサイズかどうか？

子どもが取り扱易い大きさ、重さである事。取り出し、片づけ易いように低い位置に置きます。

#### ②制限がある事

たくさんありすぎて、子どもは落ち着かず混乱してしまうので、数を制限します。モンテッソーリでは1セットずつ用意しています。

#### ③子どもの興味を引く形・色

子どもも大人と同じで美しい物、魅力的な物に心を惹かれます。材質の良い物を使いましょう。

#### ④できるだけ本物を使う

器や道具などはできるだけ本物を使います。ガラスや陶器は割れてしまうのではと、不安になりますが、逆に子どもに慎重に扱うように教えましょう。

#### ⑤子どもの発達に合っているか

子どもの好奇心や発達に沿って環境も変化させます。

主任 福留



## ～たなばた～

七夕に向けて、各クラスで七夕飾りの製作をしてきました。ぱうろ組も6月下旬から短冊を書いたり飾りを作ったりしていたところ、Bの☆☆ちゃんが「どうしてこういう飾りをするの？」と疑問を持ったようです。短冊は“字が上手になるように”…他の飾りの由来は何だろう？調べてみると、ひし形つなぎは“裁縫が上達しますように”、網と野菜飾りは“食べ物に不自由しませんように”、貝は“海の恵みを受けられますように”。ちょうちんは“織姫と彦星に明かりをささげる／心を明るく照らしてくれますように”との意味があるようです。4歳で物事に深く興味を持つ☆☆ちゃんの言葉に驚くとともに、素敵だなあと感じました。それからは、飾りを作る！と言ってくれた子には意味も伝えるようにしました。七夕飾りの当日は、みんなで輪になり願いを込めて飾りました。翌日、「昨日の夜 雨降ったけど、織姫と彦星 会えたかな？」「会えたよ！だってちょうちん飾ったからね。」「そうだね！明るかったよね きつと！」「よかったあ～」古くから伝わる七夕ですが、物語や由来を子どもたちと話しながら、これからも伝統を繋いでいきたいと思いました。子どもたちの願い事(短冊)を少し紹介します。

- ★ きらきらやさんになりたい。
- ★ およげようになれるように。
- ★ けえきやさんになりたい。
- ★ かぞくがみんなげんきにすごせますように ぱうろ組担任 田中

## ～田植をしました！～

お米の成長過程を見ながら、いつも食べているお米をより身近に感じられるように、A組で田植えをしました。

小さな田んぼはペットボトルです！ひとりにひとつ、自分の食べるお米を作ります。「土はお米を作るのに、とても大切です。」「水も土と同じくらい、お米にとって大切です。」「各々で土と水を準備した小さな田んぼに、3本ずつの稲を2か所植えました。「自分で作ったお米のおにぎりはおいしいかもよ！！」子どもたちの弾んだ会話が聞こえてきました。

Aの部屋 藤田



【かごしまの米づくり】鹿児島県では、暖かい気候を活かして7月中旬頃から収穫する「早期水稲」と10月上旬から収穫する「普通期水稲」があります。鹿児島県の種子島では台風がやってくる前に稲を収穫するために、3月半ばから田植えを始めます。超早場米産地として有名な種子島の米は3月に田植えを行い、7月上旬に収穫し、全国へ出荷されます。

## ～創立50周年記念ひまわり幼稚園

## バザーご協力に感謝！～

執行部、文化部、実行員のお母様方をはじめ、各部の皆様、協力員の方々、おやじの会、お父様方本当にご苦労様でした。保護者の皆様と一緒に雨天の中ではありますが大降りになることなく無事にバザーを終えましたことに職員一同心より感謝申し上げます。



## ★モンテッソーリ教具って何？★ Vol.11

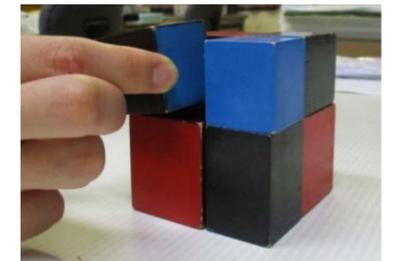
### 二項式



赤・青・黒で塗った木製の立方体と直方体8個が木箱に入っています。この教具の目的は三次元の視覚を養い数学的思考と代数教具への準備をしますが、子どもたちはパズル感覚で触っています。二項式が出来ると三項式に挑戦します。(三項式については、次回お話します。)

モンテッソーリの教具は、どれも間違っただり方をすると先に進めなかったり、見るからに不自然になったりするので子どもが自分で過ちに気付くことが出来るように作られています。

そして、間違いに気付いたら元に戻り、やり直すことで自分でその過ちを訂正できるように促されます。失敗しないことが重要なのではなく自ら気づき、自己訂正出来ることが重要なのです。



- Aぐみ・Aさん→年長児
- Bぐみ・Bさん→年中児
- Cぐみ・Cさん→年少児
- Dぐみ・Dさん→満3歳児



学校法人カトリック学園 ひまわり幼稚園

〒891-0113 鹿児島市東谷山3丁目31-13 TEL:099-268-2340 FAX:268-2333